

現代の女性

帝キネ青屋現代映畫

原作並監督者

大森 勝氏

攝影者 高橋 武利氏

主要役割

金森寛右衛門 松本 泰輔氏

妻 貞子 伊川 貞子嬢

眞寫 「現代の女性」帝キネ大森勝氏作品。  
右より瀬川銀潮氏と柳まさ子嬢



娘 光子 柳 まさ子嬢  
照子 杉村 千恵子嬢  
光子の戀人繁夫 瀬川 銀潮氏  
腕力家丑造 齊藤 紫香氏

解説——「女性の悲哀」について大森勝氏の監督製作した現代喜劇である。  
略筋——現代の女性には須ら、精神的にも肉體的にも強健ならざるべからずと金森家の令嬢光子は妹照子を相手に寸時も惜んでスポーツに餘念がなかつた。運動好きの父寛右衛門、昔氣質な母貞子との間には常に滑稽な争ひが絶えなかつた。光子の許婚繁夫は柔弱な青年で腕力家丑造の爲め常に虐げられてゐたが粗暴な丑造が光子を手籠めにせんとすのを見て奮然と起ち遂に光子と協力して丑造を介して天下晴れて戀を囁くことが出来た。が一人は名スポーツマンとして遠大な希望に燃えて世界の運動界に雄飛することであらう。